

(1)10月再編後の利用状況について

昨年度改正時と比較すると利用者数は増加し、補助額は減少している。

10月比較表	利用実績		運行補助実績		運行経費実績			
	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年		
羽川線	6,124人	6,665人	764,883円	781,873円	1,705,197円	1,711,434円		
間々田線	4,967人	5,350人	919,067円	852,990円	1,665,174円	1,667,298円		
市民病院線	1,226人	1,306人	567,448円	574,623円	738,001円	751,748円		
高岳線	4,182人	6,427人	699,126円	494,586円	1,589,706円	1,454,686円		
城東中久喜線	3,483人	5,287人	503,076円	411,819円	1,400,771円	1,534,486円		
大谷中央線	1,641人	2,426人	1,035,700円	865,021円	1,438,223円	1,371,181円		
土塔平成通り線	656人	752人	(通勤時間帯) 336,463円	(通勤時間帯) 262,077円	(通勤時間帯) 356,513円	(通勤時間帯) 364,777円		
小山駅東循環線	6,218人	6,231人	(年額) 1,658,000円	(年額) 1,958,000円	(年額) 18,013,000円	(年額) 17,990,998円		
デマンドバス 桑絹エリア	205人	206人	1,151,147円	791,455円	1,201,297円	831,355円		
デマンドバス 大谷間々田エリア	47人	139人	691,603円	795,555円	701,203円	831,355円		
間々田東西線	1,299人	1,190人	1,315,000円	1,283,359円	1,538,550円	1,471,859円		
思川駅線	(思川豊田路線) 1,184人	1,330人	2,116,772円	1,022,362円	2,513,082円	1,345,645円		
道の駅線	(中路線) 620人	834人						
デマンドバス 豊田エリア		11人					624,237円	624,237円
デマンドバス 中穂積エリア		87人						
デマンドバス 寒川生井エリア	(寒川路線)397人 (生井路線)528人	46人						
10月 合計	32,777人	38,287人					10,100,285円	8,759,957円

小山駅東口循環線補助請求は年請求のため、10月合計には含まれていない。

(参考)デマンドバス稼働状況

エリア名		平成22年10月	平成23年10月
東部	桑エリア	20%	61%
	絹エリア	45%	
	大谷エリア	29%	16%
西部	豊田エリア	-	5%
	中穂積エリア	-	36%
	寒川生井エリア	-	20%

桑エリア・絹エリアは利用状況から平成23年10月に統合されている。

(2)平成 23 年度事業計画の評価について・・・別紙参照

平成 23 年度再編後の状況について状況調査及び乗込・電話調査を実施、地域公共交通活性化・再生総合事業の事後評価として作成する。

(3)今後の予定について

平成 23 年度地域公共交通活性化・再生総合事業報告の準備をする。

日程	内容
H23.12.20	小山市地域公共交通会議(事後評価報告の承認)
H24.1 下旬	地域公共交通活性化・再生総合事業 事後評価報告
H24.4 上旬	地域公共交通活性化・再生総合事業 実績報告

その他事項：平成 24 年度地域公共交通確保維持改善事業申請について運輸局と調整中

(4)その他

小山市コミュニティバス危機管理マニュアルについて・・・運行事業者と協議中

バス運行事業者ごと目標達成のための課題

平成 23 年 11 月事務局まとめ

事業者	路線	課題
友井 タクシー	羽川	特に午前中の第 3 便・第 5 便の利用が多いことを鑑み、 利用者の要望と利便性を考慮した路線を目指す
	間々田	ルート上の危険箇所や不便なバス停を再確認し、 安全性をより高める
	市民病院	1 日 10 人の利用者増加を目指し、 より利便性・効率性の高い路線を目指す
	全路線	収支率の向上を目指す
大谷 タクシー	高岳	利用人数目標を達成するため、 1 日当たり 26 名利用者を増やす努力を行う
	城東中久喜	利用人数目標は達成しているが、 更なる利用者の増加を目指す
	大谷中央	利用人数目標に向けて乗客は増えてきているが、 更なる利用者増加を目指す。
	土塔平成通り	利用人数・収支率が共に目標値に達していないため、 行政と協力して利用者増加を目指す
	デマンド桑絹	桑地区の利用者が少ないので、 桑地区の利用者を増やす努力を行う
	デマンド大谷	大谷地区・間々田地区共に一般利用が少ないので、 行政と協力して利用者増加に努める
小山中央 観光バス	間々田東西	利用者数を 1 日 30 人増加させる
	思川駅・道の 駅	乗客サービスの向上
	全路線	利用者を 1 日 50 人増加させる
	全路線	乗客サービスの向上

期間	手段
現行車両買替時期	ロングボディの車両に買い換えを行う
平成 25 年 3 月まで	運転手の意見を聞き危険箇所の特定をし、路線を行政とともに検討する
小山駅中央自由通路完成時	利用者にアンケートを行い、行政とともにより利用しやすいルート・時刻の検討を行う
消費税変更時	消費税の増税が見込まれるので、利用者へのアンケートを当社で実施のうえ、行政と料金改正案を検討する
次回契約時まで (平成 24 年 9 月 30 日)	路線近隣の会社や自治会への情報収集を行うと共に、車内で運転手からの情報発信を行うことで、利用者の増加を目指す
次回契約時まで (平成 24 年 9 月 30 日)	車内広告などの営業を行い、収入の増加を目指すと共に、路線近隣の自治会・老人会への情報収集を行う
次回契約時まで (平成 24 年 9 月 30 日)	運転手に研修を行い、清掃を行い車内を清潔に保ち、また口コミや営業、自治会への情報収集を図る
次回契約時まで (平成 24 年 9 月 30 日)	行政と協力の上で、路線沿線の土塔・犬塚・城東へ路線時刻表等を配布する
次回契約時まで (平成 24 年 9 月 30 日)	絹地区の利用が多いので、利用の多い絹地区と利用の少ない桑地区との交流会を行政と協力の上で設ける
次回契約時まで (平成 24 年 9 月 30 日)	利用の少ない地区へ再度行政と共に説明に伺う
平成 24 年 3 月末まで	学生以外の需要を掘り起こすため、時間帯別の乗客数・乗降停留所を調査する
なし(協議会を踏まえた上での検討)	乗客の需要に合わせたダイヤにするため、時間帯別の乗客数・乗降停留所を調査する
次回契約時まで (平成 24 年 9 月 30 日)	利用の具体例を示すなど高齢者にもわかりやすいパンフレットを各地に配布する
平成 23 年 12 月末まで	バスについての問合せ対応ができるように運転手を再教育する(特に乗継券に関すること)、またその他路線の時刻表を車内に配置し、サービスを充実させる